

私の田植法

適期に適令の苗を

去る四月十一日、巻地区普及所主催による「田植節」についての協議会が開催され、役場、公民館、農協、婦人会、農研クラブ、四日クラブの代表者が参集した。

その席上、北野の堀越与四栄さんから段時により適期の植付けをし、しかも労力不足を解消するという「一石三鳥」の田植法？についての発言がある、普及所の技師を始め参会者一同に強い共感を与えた。以下その方法について投稿いただきますので御紹介いたします。



堀越 与四栄氏

此の度巻地区の普及所関係の各農業団体の田植の件の会議に主席し、色々と皆さんの意見を御聞きまして今後農家の労力不足はどうあるべきか、其の最初の問題点である田植の労力調整をどうしたらよいか。

これで一応考えさせられる問題は、地区がほとんど一緒に苗代押で、種蒔も同時に有る点で、田植も亦一緒に参りまして一層深刻になって参ります。

普及所の指導で苗代様式が全耕地についても適宜でない程改良苗代が普及したので、今までの水苗代と違って苗の心配がほとんどなくなりまして関係上、正月に

田植がきめられます。

一年の計は元日にありとう諺にもありますように、正月に田植が決まられて計画通り実行されるのも結構だと思いますが、此の処で皆さんから考えて頂きたいことは、一緒に種蒔して同時に植えるということを変更して、少しも種蒔の時期をおくらせると田植もおくらせらるることになります。

田植の人手不足を考えると例年頭痛の種となって参りました。私は此の問題は何としか解決したいと思いついて佐藤普及員と色々相談しまして技術的の指導をお願いしました。

私も此の点に付いて田植の早植には、今後尚一層の研究を要するのではないでしようか。なぜならば皆さんも承知して居られること色々と前に申上げましたように、問題点が多くあります。盛になり、最高分蘗期に至

数を数えてみますと、一株足はどうすべきか。私の一の莖数が多いのは五十〜五十五本にもなつて居ります。秋になつて刈取に行つて数を数えますと、何んといふ十五本、多いので三十本位になつて居ります。

そこで佐藤さんに私が研究会の際にお聞きしたのであります、五十本五十五本も分蘗した一株から二十五〜三十本になるから丁度半分ではないでしようか。

此の点に付き問題があるのではないでしようか。言葉は極端ですが御飯を食べて働かない怠けもの、まあインソウは必要性がないのではないでしようか。

有効分蘗期間に分蘗したのですから、当然秋になれば五十本が穂を出すのが出ない。いつの間になくなるのでしよう。

前に申しましたように早植をすれば、青田を作る百姓なら若苗を植えて、肥料を多くやれば誠に青田は見事であるが、お盆過ぎに大雨でも降ると倒伏するおそれがある。

そこで私達は今後稲作に対して反省しなければならぬ。

それに反して熟苗を持って行った場合は、無効分蘗が少い上に一種の齎粒数が多いのと、千粒重が重いといわれて居ります。

色々と前に申上げましたように、問題点が多くあります。さて田植時における人手不足を参考までに申しますと、人よりも一週間亦は十日位人よりおくれさせるの痛の種も少くなりま。

堀越与四栄の所は田植はそののだからの看板に田植のゆい頼みます。亦外の部落から人間を頼むにも時期はずれになると割に人も頼みやすい。

亦自分達のように二チャン農業(要するに父ちゃん母ちゃん二人で百姓すること)を二チャン農業といいますが若夫婦二人で経営して行くので人手のある人はよいですが、自分達のように人手のない人は田植を十日おそく植えて四〜五日亦は一週間か十日位で除草機押すことにおいては、一番除草が儲かると思ひます。

但し七月の初まりまで十日先に田植した人に続くことができます。

此の点女の人若い人が内の田圃だけが青田のできが悪いと思ひますが、此処が親方が黙つて我慢しなければなりません。

青田作りの百姓でなく、米を取る百姓なんですから田植に人が頼まれないからといって、総て犠牲にするとは今後真剣に考えて研究会で大いに討論する必要がありますと思ひます。

適期作業適期に苗を植えることを誌上を持ってお進め

したいと思ひます。

一度読んで頂いて今後の田植作業が昔ながらのお祭騒ぎにならぬよう、人が終つたらから自分も終らなければならぬような計画は止めましょう。

適期の苗を植えて三十八年度も大豊作をお約束して参考までにペンを

ラジオ農業学校

十二日午前九時から巻町ラジオ農校生との合同研修会が開かれる。

尚この集合研修日には、県専門委員及び技術者が二班に分かれて、現地での状況を観察する。

○一般学習 石瀬公会堂
○ランナーの仮植、苺ジャムの作り方、病害虫について
○専門学習 巻町中郷屋公民堂
協業農家の訪問、直播圃場の見学、病害虫防除について



岩中の特別教室で学習に励むラジオ農校生

執った次第であります。

(筆者は岩室農協青年部委員長)

おちえはいしやく
青年団で図案を募集
合併以来連合青年団の結成により、団旗作製の気運が急激に高まり、これに伴う図案を募集いたします。

発展を続ける岩室村の青年にふさわしい、若さ并希望に満ちた図案がありましてから十五日までに青年団事務局又は公民館宛御送り下さい。採用の節は記念品をさしあげます。

相撲大会

二十一日正午から、岩室兼師堂内で青年団相撲大会が開かれます。誘い合せて観覧下さい。

山岳会だより

十四日午後七時三十分から岩室支所で第三回定例会を開きます。

議題は①第1回村民登山大祭の反省。②第10回民登山祭参加について。③飯豊登山計画、その他について協議する。

いとがき

○和納地区は十日、間瀬、岩室地区は二十一日にそれぞれ招徠祭がとりおこなわれます。各位の御参拝をお願い致します。

○岩室地区の敬老会が七月一日、岩室中学校で行われます。関係者各位の御協力をお願い致します。

○いよいよとうしう梅雨どきを迎えますが、お互いに健康に留意いたしましょう。(福田)